

平町の地底掘進は難なく即決否決

職業紹介所は新設

吉田氏の建議案破る

平町會は昨報の如く本日午前十時から開會、職業紹介所は社會政策上必要と認むべきを以て是れを新設すべく決定し小田吉次氏より出願に係る平町の地底掘進に關する件は一讀會に於て即決否決したその理由は文書を以て回答し且つ適當なる機會に於て町當局は鑛山監督局に陳情すべく滿場一致の決定を見たが吉田禮次郎氏は『此際一言すべき件あり』とて發電所設置に關し水道水源地再調査を即時斷行すべく建議する處あり佐藤庄太郎、吉田伴吉の兩氏賛成せるも他に賛成者一名もなく永山和平氏の『建議案は是れを撤回し適當の機會に於て再調すべく町當局に一任するを以て可とする』意見多數にて吉田氏の建議は少數否決された因に當日の町會は地底掘進に關する重大案件以外に再調査建議の劃策ある等との説あつた爲め開會前より傍聴者多數詰め掛け中には議事進行中野次を飛ばすが如き不謹慎な傍聴者もあつたが永山和平、阿部唯次郎諸氏が『攝政宮翁島行啓の日なるを以て本日町會は他迄平穩無事ならしめざるべからず』と警告した事が効を奏し午後一時半無事閉會を告げた

磐崎村民百餘名が

御代村長に膝詰談判

其自決を迫つて形勢不穩

消防組員を召集して鎮撫

石城郡磐崎村放牧地問題に關し其解決の時日が延引しつゝあるは御代村長の態度曖昧なる爲めなるを以て其自決を迫らざるべからずと爲し昨日午後六時頃百名餘の村民大舉して村役場に殺到し同村長に面接次第に形勢悪化の徴あつたが同村を始め附近の駐在巡查は攝政宮行啓御警衛の爲め出張不在中であつた爲め消防組

演奏會

九日平町にて

石城郡小名濱マンドリン協會にては地方音楽鼓吹の爲め来る九日午後七時から藤田裁縫女學校に於てマンドリン大演奏會を開催する筈であつて東京民衆音楽協會

員十二名三越音楽隊員三名來演し夏の夜にふさはしいマンドリン管絃樂のリズムは必らず會衆の胸線に絶大なる共鳴の響きを與へず安置かぬであらうが會費は特等一圓、普通五十錢であつ

密雲からの涼風一過に

サイツと計りの驟雨

昨夜からは本降り

人々は蘇生の思ひに一安心

幾十年振りかの旱天續きに稲は赤くなる、野菜は枯れる、飲料水も不足を告げて人の眼は天の一方に去來する雲影にのみ集中されて居たが平地方は昨朝密雲がたれ込み涼風一過サイツと計りの驟雨來に人々は漸く蘇

平水道取入量に關し

好問村との水利契約

伊坂町長の説明

別に紛争は生じて居ない

伊坂町長は平町對好問村の水利契約に關し本日の町會席上次の如く説明した『非常なる旱天に際して同村の農作物が枯死するが如き場

カテイラン

可愛い我子には

最近大そう二三才から七才位の小供に病氣が多くなつてまゐりますかそれは主に胃腸をこはすのが一番多いやうです。従つてこれ等の病氣は大腸カタルから赤痢や疫病になるのが大部分です。赤ん坊などはすべてが

少女海に溺る

けふ午後一時

平町三丁目鈴木下駄店四女尋常六年生鈴木ミヅ(三)は本日午後一時頃小名濱海岸にて海水浴の最中波に凌はされ溺死した

常磐片々

吉田禮次郎君けふの町會で汗をふきふき再調査を力説

お暑いのに御苦勞とは利權組からの言上、

町當局が勿論爲すべきを言明して居るのに馬鹿急ぎに急ぐのはどうやふ譯?

矢張りお歳のセイカね、サリとお氣の毒な……

急がなかつたら村雨にぬれずは済んだものをと後悔した旅人があつたさうです

貨車澤山は

却つて迷惑

五大炭礦陳情

石炭の需要期は毎年冬期に在つて夏期は需要極めて薄く各炭礦は何れも労働者足止めの程度に於て極めて内輪に事業を繼續しつゝあるに過ぎず随つて貨車の如きも必要極めて少きに拘らず鐵道省は貨車に多くの餘裕ある夏期に至つてドンク

て本社外平町三日刊新聞社が後援する因に同協會にては翌十日午後三時から第二回レコード演奏會同日午後七時からマンドリン大演奏會を同町小學校に開くと

炭礦に廻送さるゝがもし之を逆送するに於ては冬期の貨車配給に崇らるゝを恐るゝの爲め必要なる石炭を採掘しすて賣同様の廉賣をせねばならぬこととなり之れに依つて被る不利決して僅少に止まらぬものあるのでなるべく夏期に於て圓滑にして欲しいといふ希望から本郡磐城、入山、古河、福島、大日本の所謂五大炭礦代表者は此程平町住吉屋本店に會合し鐵道當局に對して陳情の件を協議したと

定にかゝる鐵道省起業費二線敷設並附帯工事施工のため收用すべき土地の細目左の如し四日附を以て香坂知事より公告さる

福島縣石城郡泉村大字本谷字豆腐ノ内四〇番ノ一山林同上宮内方二一番ノ一畑

新舞子賑ふ

賣店も出來て

打續く炎天に海岸に涼を追ふもの多く國立公園の候補地を以て最近その名を知られた石城郡大浦村の新舞子には日々多數の團體その他杖を曳くもの多く近頃は賣店などの設備も出來て稍遊

平町人事

出生

△白銀町 波多野三郎氏二女惠子

△四丁目 白土清太郎氏四女文子

△白銀町 田島末太郎氏(四八)茨城縣久慈郡世喜村伊藤はつ(三三)

△死 亡

△杉平 笠原タケ(三三)

△南町 水津秀一(三三)

土地收用公告 大正十三年七月十九日内閣の認